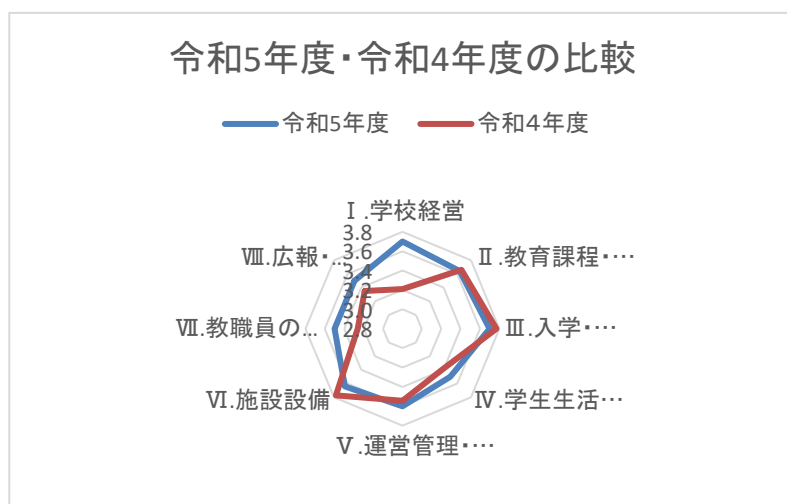


本校は、教育理念に謳っていますように、生命の尊厳といつくしみの心を基盤とした人間性を育み社会に貢献できる看護師の育成をめざしています。本校の教育・管理運営の質の維持と向上を図るため、令和5年度学校運営に関する自己点検及び自己評価を行いましたので、評価結果を公表いたします。

令和5年度 学校運営評価

評価項目	I.学校経営	II.教育課程・教育活動	III.入学・卒業対策	IV.学生生活への支援	V.運営管理・財政	VI.施設設備	VII.教職員の育成	VIII.広報・地域活動
令和5年度	3.7	3.6	3.7	3.5	3.6	3.6	3.5	3.5

※評価基準は、3点を標準としています。



カテゴリー	自己点検・自己評価の概要	平均値
I 学校経営	教育理念および教育目標を指針とした組織目標を「①看護師国家試験合格と進路決定支援」、「②学校の広報活動の継続と学生の定員確保」、「③ICTを活用した教育の推進と教員の資質向上」とした。令和5年度は、ICT活用能力の強化を図り多様な患者のニーズに対応できる質の高い看護師を養成するため、ICT教育環境を整備し、教職員の研修会を行い活用に向けて取り組んだこと、また学生の看護師国家試験合格率100%、就職率100%であったことから、自己評価点が上昇したと考えている。	3.7
II 教育課程・教育活動	令和5年度は新カリキュラムに挙げられているICTの基礎的能力の習得に向けて、様々なICT機器(校内無線LAN環境の整備、電子黒板、ハイブリッドシミュレーター、電子カルテ、デジタルコンテンツ：ナースングチャンネル、iPadなど)を導入し、効果的に授業に導入していけるよう教職員の勉強会や研修を行った。教具・教材のICT化はまだその余地があるため、令和6年度はさらに進歩させていくことを目標とする。	3.6

カテゴリー	自己点検・自己評価の概要	平均値
III 入学・卒業対策	<p>入学者の確保においては、高校訪問や電子媒体の活用による広報活動、オープンキャンパスにおいて対面型を多く取り入れるなどして、出願者の確保に努めた。本校で質の高い看護師を養成するためにも、学習意欲が高く、看護師資格の取得目的が明確な学生を入学生として確保していく必要性を感じている。</p> <p>令和6年度入学試験では、男性の入学志願者および入学生が増加、また大学卒業のタイミングで本校を受験し入学した学生もいた。多様な学生を確保するためにも、入学対象者の概念を拡大するなど検討していきたい。</p>	3.7
IV 学生生活への支援	<p>学生へ奨学金、授業料減免など経済的支援に関する情報提供を行い、必要な学生は経済的支援を受けながら学習を進めている。令和6年度からの専門実践教育訓練給付金制度の指定を受け、社会人が看護師に挑戦しやすくなる環境を整えた。</p>	3.5
V 運営管理・財政	<p>財政面は、予算の範囲内で優先度を踏まえて執行管理した。総合防災訓練は計画どおり実施した。交通安全については、通学時の自転車事故発生や、自転車マナーに対する苦情が寄せられるなど、学生への継続的な指導が必要となった。そのため警察・交通安全協会の協力を得て体験型の交通安全教室を実施するとともに、機会を捉え交通ルールを周知した。</p>	3.6
VI 施設・設備	<p>令和5年度は校内の無線LANや新たなICT機器・教材を導入し、新カリキュラムに対応できるICT教育環境を整備した。教職員はこれらの機器・教材を活用した授業の実施に向けて、操作方法や活用手法の習得に努めた。学生満足度調査では冷房や暖房の使用などの電気使用に関係することが挙げられていたが、地球温暖化の防止等に取り組むため、学生に対し引き続き節電への理解を促していく。</p>	3.6
VII 教職員の育成	<p>令和5年度は新カリキュラムでのICT活用のため、Google Classroomの使用法の勉強会を実施した。引き続き、専任教員向けのICT環境の十分な活用のための研修会および外部講師の活用に向けての周知と、レクチャーなどの機会を取り入れていく必要がある。評価項目「教員の授業を他の教員が参観、講評できる制度があるか」について、授業参観の実施をコロナ禍以降見合わせていたが、教員の資質向上に有益であることから今後再開していきたいと考えている。</p>	3.5
VIII 広報・地域活動	<p>学校の広報活動として、学校行事後速やかに学校ホームページで紹介するよう取り組んだ。学生祭は一般公開を行い、学習発表や模擬店など地域の方々との交流を図ることができた。</p> <p>地域貢献・奉仕活動としては、2年次の学生有志が地元のイベント「ゆりはかマルシェ」にボランティアとして参加し、好評を得た。新カリキュラムは「地域」が重要なキーワードのため、本校が地域に求められる存在となるよう広報活動やボランティアなどに積極的に参加していきたい。</p>	3.5